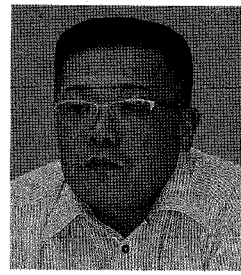


# 第13回定例会を宇都宮市で開催

## 「TNB」のホームページを開設へ

### 鉄骨二次部材加工グループ



福岡会長

回定例会を開催した。

を行った。

当日は会員5社・8名が参加し、日鐵住金建材野木製造所(栃木県下都賀郡野木町)および新規入会したエヌ・エフ・シー(栃木県河内郡上三川町)の工場見学を実施した後、定例会を開催した。席上、各社の現況や物件動向などを報告するとともに、情報交換など

それによると、会員各社は、全体的には2〜3カ月程度の山積みを確認しており、なかには年内分契約済みの会員も見受けられる。夏場から上向き気配になり、稼働率100%前後で推移しており、年内はこの状況が続くとみている。

用途別では、店舗や太陽

光発電の架台が根強く出件しており、工場や特別養護施設などの物件が続く。また、製作に関しては、胴縁が堅調に推移しているという。角パイプは大口径化が進むとともに、製作の難易度が上昇しつつあるとの説明もあった。

単価は横ばいからやや強含みでの動きになっているが、施工図や前工程の遅れなどによる「期ズレ」が発生してきているという報告も出された。さらに、人材の確保が共通課題となつて

おり、各社の工夫した求人対策が報告された。今後の活動方針としては、需要動向見通しなどの情報収集を中心に生産効率を上げる新たな角パイプ切断機の開発、共通部材の共同製作・購入の積極的な検討を進めるとともに、TNBの認

知度向上、会員獲得のためにホームページ開設に向けた作業を早急に進めることを確認した。



各社の現状を報告

# JFE鋼板北海道支店 {フレームキット}の道内第1号物件 帯広の新店舗「黒んぼ」が竣工

JFE鋼

ンした。

・黒んぼ(ジャズ・パブ)

板北海道支店(長田博夫支店長)は、鉄骨構造部材JFEフレームキットの北海道地区第1号を帯広市内の店舗新築工事向けに受注したがこのほど完成し店舗がオープン

JFEフレームキットは木造軸組工法(在来工法)の柱・梁・筋交・土台などを鉄骨に置き換えたもの。防錆性能にすぐれた亜鉛めっき鋼板を使用しているため、高い耐震性と耐久性を実現し、自由度の高い設計、容易な施工、1棟毎の性能表示など、次世代の住宅にふさわしい機能を備えている。2000年に販売を開始して以来、首都圏を中心に約850棟の実績がある。

JFEフレームキットはの建て替えて、8月上旬に竣工した。建設地は帯広駅に近い繁華街で、防火地域に指定されており、また大型重機での作業が難しく、部材の軽量化が求められた。さらに店舗の建て替えであり早く営業を再開するため、短工期のニーズもあった。

黒んぼ(ジャズ・パブ)の建て替えている。短工期での鉄骨納入やボルト接合により簡略化された建方による短工期施工が可能で、着工から完工まで3カ月半という客先要望に応え、また独自の耐火認定により耐火建築物への対応も容易となり、これらのメリットが評価された。平屋延床面積127平方メートル。設計は石原由美子建築デザイン事務所アトリエゆふ、施工はスクエ

ア、代理店はアサヒ金物。JFE鋼板千葉工場で柱の骨部分に当たるフレームキットを製作し、屋根・壁は

JFEカラーを母材に成型加工販売している板金工事業のアサヒ金物が施工するなど地元産業で設計、施工していた。



フレームキット物件(正面)



ジャズ・パブの建て替えて採用(左側から)